

# 一般質問

## 主な質問と答弁

### 増加する段ボールの収集量

### 負担軽減のため戸別収集を 全ての資源物収集の方向性を検討



佐賀 和樹 市議員

**質問** 段ボールの収集量がコロナ禍前と比べて16%増加しているとのことだが、高齢者などは資源集積所への運搬も負担になっていると思う。市の見解を聞きたい。

**答弁** 段ボールについては経費や収集方法が課題となり、直ちに切り替えることは難しい状況だが、収集量も多いことから、市民負担や安全面の課題解決に向けて検討する必要がある。また、



資源集積所から戸別収集への切り替えで負担軽減を

る段ボール、雑がみ等は戸別収集にかかる経費が多く、収集体制にも課題がある。

**質問** 段ボールについて戸別収集を早期に実施し、全ての品目を段階的に戸別収集に切り替える必要があると考えるが、市の見解を聞きたい。

**答弁** 段ボールについては経費や収集方法が課題となり、直ちに切り替えることは難しい状況だが、収集量も多いことから、市民負担や安全面の課題解決に向けて検討する必要がある。また、

### 子ども食堂支援 全庁的な取組を



柳田 あゆみ 市議員

**質問** 本市の子ども食堂への支援内容及び子ども食堂のネットワーク化の状況について聞きたい。

**答弁** 子ども食堂開設時の困りごとの一つは開催場所である。公民館などで実施できないかとの声もある。また、食品衛生に関する助言など、全庁的な支援に取り組んでもらいたい。市の見解を聞きたい。

**質問** 市の施設内で実施することは、利用目的の範囲内で食品衛生上の問題がなければ可能である。食品衛生について、保健所による助言や講習会の実施も可能である。引き続き、関係機関の連携により、各運営主体の事情を把握することも

**質問** 給食センターを設けることは、一体感や連帯感を経験でき、今後の利用につながる効果が期待される。課題を検証し、学校現場の意見を聞きながら、様々な形で共食の機会を充実させていきたい。

**質問** 市内で火葬件数が増加していると聞いたが、藤沢聖苑の運営状況や火葬件数の推移について聞きたい。

**答弁** 聖苑の火葬件数は一日18件となっている。運営上の制限や施設的な制約、火葬炉の冷却時間などの要因により、一日の最大火葬件数は制限せざるを得ない。令和4年度の火葬件数は5千件で、5年前と比較して千件以上増加している。

**質問** 火葬件数の増加は多死社会の予兆と考えられる。火葬予約日が死亡日から2週間以上も先になる状況が続いたと聞いたが、その際の対応について聞きたい。

**答弁** 聖苑の運営計画と方向性について市の見解を聞きたい。

**質問** 待休日数短縮のため、火葬件数の少ない場合などは時間外火葬を行った。火葬の運営では、火葬件数を一日12件に増やす検討をしているほか、休場である友引日に一部開場している。将来的には待合室や火葬炉の増設など、施設整備を進めるため、再整備計画を検討する。

### 共食の機会をつくる 中学校給食の推進



今井 みきこ 市議員

**質問** 中学校給食について、選択制デリバリー方式の喫食率が増加すると、その良さが生きてくると思われる。しかし、給食を食べたことがない生徒も多いことは残念である。無料の全員給食デーを設けることは有益だと考えるが、市の見解を聞きたい。

**質問** 共食経験は精神発達に良い効果があると言われているが、共食の推進について、市の見解を聞きたい。

**質問** 共食はコミュニケーションや豊かな食体験につながる重要なものであり、学校ではその意義を伝えていく。

**質問** SNSなどを活用したヤングケアラーの相談体制整備について、本市専用の相談窓口を検討しているか聞きたい。

**答弁** LINEアプリ等SNSを活用した相談サービスは、神奈川県がなかなかない。ヤングケアラー等相談LINEを活用しており、本市の相談窓口につながる仕組みがある。本市独自のシステムは導入予定がないが、からのアクセスを容易にするなど、相談しやすい環境整備と支援の充実を目指す。

**質問** 本市でも幼いきょうだいのケアを担う子どもがいる家庭への家事支援サービスについて聞きたい。

**答弁** LINEアプリ等SNSを活用した相談サービスは、神奈川県がなかなかない。ヤングケアラー等相談LINEを活用しており、本市の相談窓口につながる仕組みがある。本市独自のシステムは導入予定がないが、からのアクセスを容易にするなど、相談しやすい環境整備と支援の充実を目指す。

### 多死社会への対応 聖苑再整備の検討を



石川 麻央 市議員

**質問** 市内で火葬件数が増加していると聞いたが、藤沢聖苑の運営状況や火葬件数の推移について聞きたい。

**答弁** 聖苑の火葬件数は一日18件となっている。運営上の制限や施設的な制約、火葬炉の冷却時間などの要因により、一日の最大火葬件数は制限せざるを得ない。令和4年度の火葬件数は5千件で、5年前と比較して千件以上増加している。

**質問** 火葬件数の増加は多死社会の予兆と考えられる。火葬予約日が死亡日から2週間以上も先になる状況が続いたと聞いたが、その際の対応について聞きたい。

**答弁** 聖苑の運営計画と方向性について市の見解を聞きたい。

**質問** 待休日数短縮のため、火葬件数の少ない場合などは時間外火葬を行った。火葬の運営では、火葬件数を一日12件に増やす検討をしているほか、休場である友引日に一部開場している。将来的には待合室や火葬炉の増設など、施設整備を進めるため、再整備計画を検討する。

**質問** 待休日数短縮のため、火葬件数の少ない場合などは時間外火葬を行った。火葬の運営では、火葬件数を一日12件に増やす検討をしているほか、休場である友引日に一部開場している。将来的には待合室や火葬炉の増設など、施設整備を進めるため、再整備計画を検討する。

**質問** SNSなどを活用したヤングケアラーの相談体制整備について、本市専用の相談窓口を検討しているか聞きたい。

**答弁** LINEアプリ等SNSを活用した相談サービスは、神奈川県がなかなかない。ヤングケアラー等相談LINEを活用しており、本市の相談窓口につながる仕組みがある。本市独自のシステムは導入予定がないが、からのアクセスを容易にするなど、相談しやすい環境整備と支援の充実を目指す。

**質問** 本市でも幼いきょうだいのケアを担う子どもがいる家庭への家事支援サービスについて聞きたい。

**答弁** LINEアプリ等SNSを活用した相談サービスは、神奈川県がなかなかない。ヤングケアラー等相談LINEを活用しており、本市の相談窓口につながる仕組みがある。本市独自のシステムは導入予定がないが、からのアクセスを容易にするなど、相談しやすい環境整備と支援の充実を目指す。

### 子どもの家老朽化 長期整備計画を



平川 和美 市議員

**質問** 地域子ども家の利用する子どもの熱中症予防のためには水分補給が大切である。水筒を持たずに遊びに来る子どももいるため、ウォーターサーバーを置くなどの対応が必要と考えるが、市の見解を聞きたい。

**答弁** 夏期には飲み物の持ち参を呼びかけている。しかし、近年猛暑が続くため、水分補給ができる環境整備は重要と認識しており、子ども家の指定管理者や運営委員と検討していく。

**質問** 子どもの家の老朽化対策は喫緊の課題であるが、明確な整備計画がない。今後を見据えた長期の計画を検討すべきと思うが、市の見解を聞きたい。

**答弁** 近年では、子どもの居場所のニーズは多様化し、民間団体による様々な取組も進められており、その役割は時代とともに変化している。そのような中、国が本年末までに子どもの居場所について指針を示すことから、それを踏まえ、本市の計画とも整合性を図り、

**質問** 自治会・町内会の加入率は年々下がっていること認識しているが、その現状と課題について、市の見解を聞きたい。

**答弁** 自治会・町内会の加入率は、令和4年度で67.7%となり、10年前の78.5%から10.8ポイント低下している。理由としては、時代の変化に伴うライフスタイルの変化や地縁の希薄化に加え、コロナ禍も

### 自衛隊員募集要請への対応

### 地方自治体は国の下請ではない

### 住民基本台帳の個人情報保護を



柳沢 潤次 市議員

**質問** 地方自治は住民が主人公でなければならぬ。藤沢市政は住民が主人公

**質問** 自衛隊員募集要請について、住民基本台帳の一部の写しの閲覧として情報を提供してきたが、個人情報保護法の改正、個人情報保護法施行条例の施行により、どのように対応するか、市の見解を聞きたい。

**答弁** 個人情報保護法の改

**質問** 子供は自らの意思で受動喫煙を避けることが困難であり、子供の生命と健康を守るため、周囲の大人が子供をたばこの煙から保護することが大切だと考える。

**質問** 通学路にあるコンビニ等の喫煙所について、廃止や移動を求めるときと考えるが、市の見解を聞きたい。

**答弁** コンビニ等の私有地における喫煙所への規制は難しい。しかしながら、通学路上の受動喫煙の相談があった際には、現地に向向いた上で、状況を確認し、子供への配慮についてお願いをしている。

**質問** 藤沢駅北口の喫煙所について、多くの子供が通る場所にあり、移動もしくは煙が漏れない喫煙所にすべき。駅への動線上にあり、子供への受動喫煙がある喫煙所の在り方について、市の考えを聞きたい。

**答弁** 当該の喫煙所から漏

**質問** 自治会・町内会の加入率は年々下がっていること認識しているが、その現状と課題について、市の見解を聞きたい。

**答弁** 自治会・町内会の加入率は、令和4年度で67.7%となり、10年前の78.5%から10.8ポイント低下している。理由としては、時代の変化に伴うライフスタイルの変化や地縁の希薄化に加え、コロナ禍も